

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2024 No. 72

inaokigakuen news letter



巻頭

2024年度 新年度あいさつ

特集1

第15回全日本少年軟式野球大会 優勝

特集2

第96回選抜高校野球大会 ベスト4

特集3

第102回全国高校サッカー選手権大会 出場

星稜Information

星稜アレコレ

星稜Pick up

Amitié Seiryo ～星稜の友～

総合研究所・地域連携センターだより

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中！

詳しくは裏表紙をご覧ください

2024年度 新年度あいさつ



学校法人稲置学園 理事長

稲置 慎也

新年度を迎え、大学・大学院、短期大学部、中学校・高等学校、2つの認定こども園では2024年度の新たな学びがスタートいたしました。各学舎は新入生や新入園児を迎え、春の息吹のごとく、瑞々しい命の輝きに満ちあふれているかようであります。

昨年度、私たちは「令和6年能登半島地震」という大きな災害に見舞われました。ここにあらためて、能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族並びに被災された方々に心からお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

本学園も施設設備等に損傷を受けましたが、授業や課外活動には影響のない状態まで復旧することができました。教職員はもとより、多大なるご支援とご協力をいただきました関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。

今、本学園は非常に厳しい現実と直面しております。新

型コロナウイルスによる劇的な社会変化を乗り越えた矢先に、能登半島地震により物心両面に甚大な被害を受けました。そして、急激に進行する少子化は本学園に直接的かつ深刻な影響を及ぼしております。ともすれば窮地ともいえる状況ではありますが、私たちは学生・生徒・園児、保護者の皆様や地域社会の方々の期待に応えつつけなくてはなりません。

すでに各設置校では新時代の「星稜の人間教育」を実現するため、変革を推進しはじめております。大学では「新領域学部検討委員会」を発足させ、教育改革に向けた検討を開始しました。中高では「中高未来構想」と題し、完全中高一貫型の6年教育体制確立を目指しており、幼稚園では園児の自発的な活動を通して、「非認知能力（目標や意欲、興味・関心を持ち、粘り強く、仲間と協調して取り組む力や姿勢）」を高める教育を日々実践しております。法人部門においても多様な施策に着手しており、その中でも人事評価制度が試行期間を終え、いよいよ本年度より運用開始されます。

新しい年度は、新たな挑戦と成長の機会であります。学生・生徒・園児が成長しつづけていくためには、まずは私たちが限らない情熱を持ち、努力を重ね、成長していかなければなりません。強い危機感をもって現状を打破し、変革を進めてまいります。

最後となりますが、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を胸に、生徒一人ひとりの可能性を信じ、それぞれの夢や目標の実現に向けて、本年度も教職員一丸となって全力を尽くしてまいります。皆様におかれましては、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年度のご挨拶とさせていただきます。



金沢星稜大学 学長
大久保 英哲

創立以来の建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を普遍的理念として継承し、地域に信頼され、期待される大学を目指します。

年度の初めにあたり、学長所信を5つの星で示します。

☆1 「令和6年能登半島地震」の創造的復興とともにあゆみ、次の百年を見据えた学園の方針策定に積極的に参画し、金沢星稜大学の発展に尽力します。

☆2 国際化や人々の価値観の多様化など、社会の変化に対応した、金沢星稜大学の新たな姿とミッションを提唱します。

☆3 学長として、リーダーシップ（方針を定め、発信し、実行できる）を発揮し、常に教育・研究・社会貢献の充実に努めます。

☆4 学生ファーストの学修、教員による社会に直結した研究支援、事務職員による目標達成に向けた積極的な支援の3つのバランスを保ち、共同の夢に向かう一体感のある金沢星稜大学づくりに努めます。

☆5 金沢星稜大学に学び、また働くことに喜びと誇りを持ち、健康で楽しく、人々から愛される「星稜人」の集う金沢星稜大学となるよう努めます。



金沢星稜大学女子短期大学部 学長
岸本 秀一

金沢星稜大学女子短期大学部は1979年の開学以来「誠実にして社会に役立つ人間の育成」という建学の理念を掲げ女性の実務「人財」を育成して参りました。この数年を振り返れば、感染症の蔓延、世界の各地での紛争、自然災害、SNSの発展・普及、AIの進化などそれまでの我々の想定をはるかに超えた大きな変化が現実として起こってきました。

しかし、どのような環境下でも時間は過ぎてゆき、我々は変化に対応し為すべきことを為さねばなりません。混沌とした先行きの見通しにくい状況であればこそ、本年は建学の精神に立ち返り「誠実」「社会に役立つ人間の育成」の二つを大切に行動してまいります。

大きな変化に対応し得る実務人財を育成するため、教育プログラムや各種の体制の見直しなどたくさんの課題があります。しかしながら、体系的に計画しつつ実践していきますように、教職員力を合わせて一体となり全力を尽くして参ります。



星稜高等学校 校長
星稜中学校 校長
鍋谷 正二

今年度は、本校にとって挑戦の年と捉えています。造語ではありますが、「自学自創」という言葉を掲げました。「主体的に学び、自らの力で未来を切り拓く創造力」を意味します。星稜中学校・高等学校はこの「自学自創」を身につけた生徒を育てる地域有数の進学校を目指します。そのためには、学園100年ビジョンにもあります、教職員の行動指針をしっかりと確認しながら教育活動を進めなければなりません。特に時代の変化に対応し、常に最善の教育が実践できる教職員を目指します。生徒の多様な進路希望に応える学校となるように、様々な教育プログラムを研究し、準備します。そして、育てたい生徒像①自ら学び、自らの力で未来を切り拓く生徒。②高いコミュニケーション能力を持ち、課題解決に挑戦できる生徒。③高い志を持ち、国際社会の理解に努める生徒。この3つの項目を掲げ、中高全教職員で、様々なことに挑戦します。



金沢星稜大学附属星稜幼稚園 園長
島田 裕香子

元日に起きた未曾有の出来事は、心に深く刻まれ、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。能登の仲間は、このような困難な状況でも避難所として園を開放し、一日も早い園児受け入れを目指しました。星稜幼稚園も被災児童の受け入れ準備を進め、できる限りの支援を行うと決意しました。同時に星稜幼稚園に通う子どもたちが、幸せで健全な成長を遂げるために、尊い命を守る安全で安心できる毎日に最善を尽くします。

また、子どもたちの約束された未来に向け、子どもたちが持つ可能性を十分に発揮できる満足感の高い、教育・保育の提供として、主体的にあそぶ(学ぶ)考える・対話)環境と豊富な原体験を提供します。星稜幼稚園が提供する教育・保育は、子どもたちの夢を実現するための堅固な基盤を築きます。

星稜幼稚園は、園児も保護者も地域の方も教職員も、生き生きと過ごす希望あふれる園である努力を続けます。



金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園 園長
秋山 千賀子

4月から星稜泉野幼稚園園長に就任することになりました。昨年度までは星稜幼稚園で、0歳児から5歳児の元氣いっぱい園児たちと日々楽しく過ごしてきました。星稜幼稚園での経験も生かしながら、星稜泉野幼稚園の良い所をどんどん見つけ、両園の良い所を合わせて、園児、保護者そして教職員が毎日を安全で幸せに過ごしていけるよう最善を尽くします。私の大好きな絵本の中の一冊に「きみのことが だいすき」という絵本があります。その中で小さな動物たちが「99人に合う靴だって、きみに合わないさや意味がないんだ」「わからないことは、なんでも聞いてね。同じことでも、何回も聞いてね」「心を、ぎゅうするね」などと心がほっこりする言葉をささやきます。ワクワクドキドキする遊びを提供することはもちろん、優しい気持ちや個性を大切にする気持ちも忘れずに、「明日もきっといい日！明日も幼稚園に行きたいな」と思えるように努力いたします。



星稜中学校野球部

第15回全日本少年軟式野球大会 優勝 8年連続10回目の出場で3年ぶり3度目の栄冠!

夏の横浜スタジアムでの春夏連覇を目指します!

3年 小路 瑛主(主将)

僕たちはこれまで冬の走り込みや、伝統のノック、朝早くから朝練をしていたり、練習が終わった後にもコーチと練習をしていたり様々な努力をしてきました。今回の全国大会では今までの努力が実ったんだと思います。ですが、まだまだやれることが多くあるので、これから今回で出た課題を無くしていけるようにしていきたいです。

3年 松本 壮平(副将)

春の全国大会は優勝という形で終わりましたが、これからは「日本一」のチームとしての行動やプレーをすることが大切になると思うので、もう一度初心にかえり、「挨拶」などの礼儀やゴミ拾いなどの「人間性」を見直して、チーム全体のレベルアップを図ってみたいです。

3年 山田 侔生(副将)

今までやってきたことが存分に発揮できず、力を出し切ることの難しさを全国大会で感じました。また、保護者の方々の応援やサポートは当たり前ではなく、感謝をしないとけないということもわかりました。この全国大会は自分の今後の野球人生に生かせるようないい経験ができました。

3年 東 寛斗

今大会では、試合を重ねるたびにチームとしての一体感が増していると感じました。全国大会は一試合勝つことで大きな自信になり、その自信がチーム全員の「絶対勝つ」という思いにつながり、チームが勝利に向かって一体となることができました。チームとして一つ自信となる大会でした。

監督 五田 祐也

まずは、能登半島地震に被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることを祈っています。

さて、我々星稜中学野球部が全国大会に臨むにあたり、私たちも1月1日の地震を体験し、チームも1月4日からの始動予定が約10日間遅れとなったことや、被災して学校に通うことがままならなかった生徒がいたため、改めて全員が揃って野球ができることに感謝しながらスタートを切りました。

今年のチームの特徴は、粘り強さにあると感じています。守備においては、点数が入るまで投手陣が粘り強く投げ切ることができました。大会では小路(3年)、服部(2年)、東(3年)の3人の投手陣が軸になると考えていました。服部は初戦、小路は3回戦、東は準決勝、決勝と大きな局面となる場面で粘り強い投手力を見せ、それに呼応して守備陣と共に守り抜くことができました。また、攻撃では中々点数が入らない中、初球から積極的な打撃を貫き、追い込まれてからどれだけ粘れるかをテーマにし、日々の練習に励んでくれたおかげで、大会では粘ってつないで、三振が少なく、少ないチャンスで一気にパンチや走塁を絡めて得点することができました。

今大会では、一戦一戦の試合で勝つたびに3年生を中心にチーム全員がまとまっていたのが一番の勝因でした。チームも個人も沢山成長した部分も見られましたが、同じだけ失敗や課題も見つかり、優勝して満足している選手はわずか、夏にもっとやってやるぞという気持ちを持った選手が多かったです。

このエネルギーを毎日の練習につけて、夏の横浜スタジアムでの春夏連覇に挑戦します。本当に沢山の方々に支えていただきありがとうございます。



KOSHUEN STADIUM 100TH ANNIV 2024			
第1日 開会式			
1 星稜	2 戸川学院	3 関東一	
15 近江	13 田辺	10 星稜	
14 学法石川	11 敦賀気比	9 豊川	
13 学法石川	11 敦賀気比	9 豊川	
12 学法石川	10 敦賀気比	8 豊川	
11 学法石川	10 敦賀気比	7 豊川	
10 学法石川	9 敦賀気比	6 豊川	
9 学法石川	8 敦賀気比	5 豊川	
8 学法石川	7 敦賀気比	4 豊川	
7 学法石川	6 敦賀気比	3 豊川	
6 学法石川	5 敦賀気比	2 豊川	
5 学法石川	4 敦賀気比	1 豊川	



星稜高校野球部

第96回選抜高校野球大会ベスト4 2年ぶり16度目の出場

決勝進出は惜しくも逃しましたが、石川県勢として初の4強入りを果たしました。

3年 青裕 晃太(主将)

この度は、第96回選抜高等学校野球大会におきまして、多くのご声援をいただき、ありがとうございました。
選抜大会では、レベルの高い高校、レベルの高い投手と対戦させていただき、とても貴重な経験ができました。甲子園で二勝する難しさや多くの観客がいる中での緊張感などを素肌で体験できたことは、これからの一生の財産になりました。勝利した時の全員で歌う校歌は最高でした。
県勢として本校初のベスト4入りすることができ、うれしかったのですが、目標にしていた全国制覇への舞台へ進むことができずに悔しさが残りました。夏もう一度、素晴らしい場所、全員で戻り、また校歌をみんなの笑顔で歌い、深紅の優勝旗をつかめるよう頑張っていきたいと思います。これからも応援よろしくお願いします。

3年 吉田 大吾

応援ありがとうございました。皆様の応援のおかげで自分たちはベスト4という石川県勢初の壁を破ることができました。
選抜大会を終えて強いチームと試合をさせてもらって、自分は守備でチームに貢献することができました。冬練習の地道なゴロ捕球であったり、ノックを受ける回数が増やしたことで、選抜大会ではその成果を発揮できたと思います。その反面、課題の打撃では結果を求めてしまい、好投手を前にするとなぜか消極的になってしまい自分のスイングができなくなる場面が多くなり、悔しい気持ちが残りました。

自分たちの目標でもあった全国制覇には手が届かない結果になってしまいましたがベスト4という結果で終わったことにより、夏への成長があると思います。春の経験を生かして、夏は必ずもう一度あの舞台に立ち、全員でマウンドに集まることできるように頑張っていきたいと思っています。これからも応援よろしくお願いします。

3年 中島 幹大

皆様が応援してくださったおかげで、石川県勢初の選抜大会ベスト4という結果を残ることができました。私たちに支えて下さった、そして応援して下さいました。私たちに心から感謝します。私たちの野球は、全員が一人となって戦い、個々の力を最大限に引き出し合うチームワークが持ち味です。私自身もチームのみんなが作ってくれた良い流れに乗り、バッティングで貢献することができ、甲子園の舞台で大きく成長したと感じています。しかし、決して満足していません。準決勝敗退という悔しさを忘れずに、チームとしても個人としてもさらに成長し、夏もう一度甲子園に戻り必ず日本一を勝ち取ります。これからも応援よろしくお願いします。

部長 谷村 誠一郎

選抜高等学校野球大会は、関東大震災の傷跡がまだ生々しい1924年(大正12年)に「野球を通じて生徒たちに純真明らかな風情を吹き込む」とも、国民の希望の灯をともしたい」という願いをこめて誕生した招待大会です。
これまで、阪神淡路大震災や東日本大震災、熊本地震、今年の能登半島地震など、いくつもの困難を乗り越えながら、今年の第96回大会で創設から100年を迎え、同じ年に完成した阪神甲子園球場も、8月1日に開場100周年を迎えます。このメモリアルイヤーに、星稜高校野球部は過去にない石川県勢として初めてベスト4まで進出したしました。

石川県勢の選抜高校野球大会への出場は、1948年の第20回大会に金沢三中(現・金沢桜丘)が初出場しました。以後、星稜16・金沢9・日本航空石川3・金沢桜丘3・遊学館1の出場回数があります。いずれの大会も、過去最高は、準々決勝止まりでした。
我々は、秋の日本一明治神宮大会優勝に続き、春の日本一を目指して今大会に臨みましたが、目標の「紫紺の大旗」には手が届きませんでした。しかし、私たちがこの悔しさを忘れず、夏の選手権大会にリベンジを果たすべく挑戦して参ります。2日間の雨天延延のため、吹奏楽部やチアリーダーの皆さんが体調を崩しながらもアルプスからの元気な応援は心強かったです。いつもながらの「星稜コンバット」に、教職員・生徒の皆さんの熱い応援があり、ありがとうございました。夏の全国高校野球選手権大会は、全校生徒が甲子園球場に応援に来ていただき、決勝戦で一箱に校歌を歌えるように頑張りたいです。今後とも野球部に熱い応援と激励をよろしくお願いします。

監督 山下 智将

第96回選抜高等学校野球大会出場に際し、多くの方からご支援ご声援をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。
石川県にとって大変な新年を迎え、本校野球部にとっても調整が難しい大会となりました。生徒は現状をしっかりと把握し、限られた時間を自分の課題と向き合い、心身の鍛錬に励んでくれました。私自身、生徒に特別な思いを背負わせるのは難しいのではないかと考え、今できることを一生懸命にやろうとだけ伝えてきました。本校としては初めて石川県勢として選抜大会でベスト4まで進出するのは初めてのことでしたが、これは、我々の力だけでは到底達成できているものではなく、多くの方の支えがあったからこそだと思います。3月24日(日)2回戦の前に、阪神甲子園球場で能登半島に学校がある高校球児に会い、笑顔で対面し、福間の先生方から激励のお言葉をいただき、元気をいただきました。先日本航空高校石川と同じ試合だったこともあり、「石川県勢がない」と強く心に刻みました。

今回の大会で得た収穫や課題を、今後に生かしていきます。今後とも星稜高等学校野球部をよろしくお願いします。



第102回全国高校サッカー選手権大会 星稜高校サッカー部は、4年連続32度目の出場

きつい練習、遠征、試合を仲間と切磋琢磨し合い乗り越え、メンバー30人が最後まで諦めないでプレーしました。

●監督 河合 伸幸

新チームのスタートは、新人大会準優勝、高校総体ベスト8、北信越プリンスリーグでも下位を抜け出せない状況が長く続く(夏の頑張りで最終的には4位)など強い星稜はどこに行ったのか?という声も多く聞かれていました。それでも「選手権だけは絶対に獲るぞ」というチームの思いは揺るがず、トレーニングする日々が続きました。

ただ、結果の出でないチームに何を伝え、どう改善していくかが重要で、いろいろな方の助言やスタッフ、選手間のミーティングを行い、たどり着いたのが「守備の強化」でした。夏の期間、多くの全国強豪校と試合をさせていただき、テーマである「守備の強化」のため、全員がスプリントを繰り返し、奪われても奪い返す気持ちを持って戦った結果、チームの統一感が生まれ、自分たちのやるべきスタイルが確立していったことを覚えています。その後、石川県高校選手権大会では「無失点」という形で優勝を飾ることができました。ただ、あくまでもこれでスタートラインに立てただけである、という認識は選手も同じで、この先の全国大会でどれだけの結果を残せるのか?が重要であることは皆が理解していました。

いよいよ全国大会。初戦は緊張からの硬さもあり、思うような展開には持ち込めませんでした。GK佐藤の活躍もあり、初戦を突破。次は強豪「市立船橋」という前日にあの「能登半島地震」が発生しました。家族の安全確認、大会の継続は可能なのか?などいろいろと頭の中を駆け巡ることが多かった

ことを覚えていますが、もう一度振り返ってみて、本来、選手はこの大会に目標を持って来ていることを確認し、次に日の朝には、「今まで通り星稜のサッカーをしよう」と選手に伝え、会場へと向かいました。

会場正面を見ればバックスタンドに日大藤沢高校サッカー部員をはじめ、多くのサッカーファミリーが「石川」・「星稜」の文字を掲げ、振り返れば、メインスタンドに黄色のシャツや模造紙を持って応援する観客。会場が「星稜」一色に染まっていました。我々にとっては国立競技場よりも素晴らしい景色の中でサッカーができたことを覚えていきます。

今回、震災もあり、「感謝する気持ち」を多く感じたのですが、何に「感謝しているのか」ということを考えさせられました。支援物資を送る、寄付金を募るなどいろいろな感謝はありますが、電話で一言「大丈夫?」と声をかけてくれる、スタンドで黄色の模造紙を掲げてくれるなどの行動で「その人に関わってくれること自体が感謝」という思いにつながると実感しました。これからも星稜高校サッカー部として周囲から「感謝」されるチームを作っていこうと思います。皆様の応援、誠にありがとうございました。

●3年 倉畑 鉄将

3年間サッカーができたこと、チームメイト、支援や応援してくれた方々、親、指導者、関係の方々には本当に感謝しています。全国大会までは、結果が出なくて悩

む時期もありましたが、日々の練習から全国基準での練習をチーム全体で意識してきたことが全国大会出場につながったと思います。最後の試合では、石川県で地震が起こり、応援団が来られない中、いろいろな学校や人たちが応援してくださり、サッカー1つでこんなにも日本が盛り上がり、多くの人が団結できることにサッカーの凄さや、楽しさを感じ、感動しました。今までとは違う感覚があつて、高校サッカー1つで本当に楽しいなと思っていました。

3年間きつい練習、遠征、試合はありましたが仲間と切磋琢磨し合い乗り越えてきた3年間が宝物です。ありがとうございました。

●3年 天川 達心

僕が全国大会で感じたことは、まず初戦では、観客も多く、良いピッチで試合ができて、私はそれが初めての経験だったので、緊張して周りが見えなくなったり、周りの声が聞こえなくなったりして、全然自分のプレーができないうという悔しい経験をしました。しかし、失点を1に抑えることや、メンバー30人が最後まで諦めないでプレーしたからこそ、最後の1点や、PK戦で勝ったと思います。3回戦では、震災の影響で星稜の応援団は来れなくて残念でしたが、いろいろな人の協力やサポートにより、たくさんの人が応援に駆けつけてくれました。チームは負けてしまいましたが、私たちはその応援のおかげで最高のプレーができたと思います。スポーツの力ってすごいなと感じました。

●2年 中村 晃希

私たちは第102回全国高校サッカー選手権大会ベスト16という結果で幕を閉じました。そこにたどり着いた要因は3年生がいたからだと思っています。常にチームのことを気にかけて後輩たちがプレーしやすい環境を作ってくれました。自分は選手権期間で「3年生のために」という思いを強く抱き、ミーティングで常に言い続けていました。優勝という目標には届かなかったけれど私たちができる恩返しはできたのかなと思っています。新チームも始まり3年生が抜けた大きな穴を自分たちで埋めていき、もつといい成績を残して大好きな3年生に自分たちの進化した姿を見せられるように今年はずっと頑張りたいと思います。

●2年 木村 勲平

昨年の春からなかなか勝つことができず、とても苦しい日々を過ごしました。インターハイも県大会で負けてしまい、冬の選手権でリベンジするという思いはどの高校よりも強かったと思います。全国大会では選手権という幼い頃からの憧れの舞台に立つことができた喜びの反面、大舞台で実力を発揮できない自分の弱さを痛感しました。石川県が大地震に見舞われ多大な被害が出る中、絶えることのない応援がとて力になりました。ありがとうございました。最高学年となる今年はいよいよ責任と自覚を持ち、昨年成し遂げることができなかった全国制覇を目標に日々の練習からチーム一丸となつて励んでいきたいと思っています。

(※年は2024年2月取材当時の学年です。)



2024年度エクステンション資格講座ガイドが完成しました!

資格取得やスキルアップを目指す方向けに開講しているエクステンション講座は、毎年学生を中心に卒業生や保護者の方にもご利用いただいています。また、WEB資格講座をはじめとするオンデマンド講座やオンライン講座、ライブ講座との組み合わせによるハイブリッド講座など「新しい学習環境」の提供をしています。

詳細はホームページでご確認ください。

〈エクステンション講座ホームページ〉<https://ssl.smart-academy.net/seiryo/>



【WEB資格講座で25種類の資格にチャレンジ】

WEB資格講座は、25種類の資格講座を「定額で」「1年間」「いつでもどこでも」視聴することができることからご好評いただいています。より多くの方に学習しやすい環境を提供するために、毎月募集を行っています。

受講対象者: 学生(本学園の大学・大学院・短大部・高校等の在学生)、学園(本学園の卒業生・教職員・保護者等)

受講期間: 受講開始より1年間 ※全25講座を1年間学び放題

受講料: 11,000円(テキストは別途購入)

申込締切: 毎月20日締切(20日が土日祝日の場合は、金曜日を締切日)

申込方法: 締切日までに受講申込書の提出と受講料の支払いをしてください。(学生以外の方の受講料は郵便局で払い込みとなります。)

WEB資格講座の詳細は、ホームページでご確認ください。

〈WEB資格講座ホームページ〉<http://shikaku-web.net/web/>



短大
冬のスノーボードツアー

大学・短大部でそれぞれ冬の恒例イベント「スノーボードツアー」、短大部は2月13日(火)、日帰りで富山県「FOXAROSA」大学は2月21日(水)〜22日(木)の1泊2日で長野県「栂池高原スキー場」でそれぞれ開催しました。雪不足だった今年の冬ですが、降雪後のタイミングで実施することができ、初心者にはスキー学校へ入校しレッスンを受講。経験者は自由滑走でパウダースノーを満喫しました!



★被災地支援く学生赤十字奉仕団結成
25年分の思いを込めて

2月16日(金)、輪島市役所において学生赤十字奉仕団とNPO地球元気村のメンバーで炊き出しを行いました。被災者の方々や支援活動に携わっている行政、民間、ボランティアの方に温かくて栄養のあるものを食べていただく、カボチャやキノコがたくさん入ったほうとうを400食作りました。

また2月22日(木)は、被災された穴水町の学校の皆様へのご支援の一環として、ドーナツ及び応援メッセージの贈呈を行いました。そして、義援金20万円を日本赤十字社石川県支部に送らせていただきました。今回、物資・義援金による支援ができたのはこれまでの先輩方が団の活動資金として集めたお金を貯め続けてくださったおかげです。その資金を使つて、何ができるのかを話し合い、今回の支援に結びつけることができました。



★映像作品で 石川県教育委員会賞を受賞

2023年度にちいプロの新規団体として結成された映像作りを活動内容とする「SEIRYO Movie Creators」。「石川県の銭湯×観光」というテーマを掲げ、町の古き良き銭湯の活性化のためにも、若者・観光客目線のPR動画を四季折々に制作してきました。そんな中、今年に入り「令和6年能登半島地震」で被災された方々に向けて、入浴支援制度に関する紹介および復興動画をこれまでに撮影した素材を活用して制作。そして、この作品を県の「いしかわ映像作品コンテスト」に応募したところ、全16作品の中から最優秀賞並びに石川県教育委員会賞を授賞することができました。この作品は6月に行われる「全国自作視聴覚教材コンクール」へ推薦されます。



動画はこちらから



★ものづくりと テーブルマナー体験

12月16日(土)、Sei Tan Act第4回企画を開催し、短大生18名が3つの体験に参加しました！午前はハーバリウムの制作体験。色とりどりのドライフラワーやプリザーブドフラワーから好きな花材を選び、ピンセットを使って丁寧に瓶の中に入れ、オイルを注いでレイアウトしていききました。瓶の中の空間をどのように魅せるか、花材の色合いや配置を考えながら細部までこだわり、世界に一つの素敵なハーバリウムを完成させることができました。午後にはテーブルマナー体験と陶芸体験を実施。テーブルマナー体験では、基本的なナイフやフォークの扱い方、コース料理の順序や食べ方を教わり、実際にカトラリーを使いながら本格的なフレンチを楽しみました。陶芸体験では電動ろくろを使用した湯呑みや茶碗づくりに挑戦。器のデザインや釉薬を決めた後、ろくろの前に座り、柔らかな土をそと手で包んだり指で押さえながら成形していききました。素材に触れる楽しさ、ものづくりの魅力を改めて感じる1日になりました。



★人生について考える旅 ほし☆たび屋久島

2月24日(土)～2月29日(木)、「ほし☆たび屋久島」を実施し、大学1、2年次23名と短大1年次7名の計30名が参加しました。大阪南港で集合したメンバーはフェリーで鹿児島島に向かい、生涯を終えた特攻隊員の想いを知り、これからの自分の人生をどう生きたいのかを考えました。4日目には世界遺産である屋久島で、樹齢7200年とも推定される縄文杉を目指し10時間のトレッキングをし、長い年月生き続けている自然の生命力に触れました。また、移動中のフェリーでは、人生や仕事への自分の価値観を知るグループディスカッションやペアワークなどを行い、旅の最後では人生で何を達成したいのかを各々が発表しました。

最後の発表で堂々と自分の夢について語る参加者たちの姿はとても頼もしく、参加前からひと回り成長したように感じられました。解散は鹿児島港。プログラム後も各自の旅が続きます。今回の経験は今後の人生にとって大きな糧になることでしょう。



★サークルリーダー 研修会を実施

3月1日(金)、学内においてクラブ・サークルの代表者研修会「サークルリーダー研修会」を実施しました。全学生の中から大学・短大の公式課外活動団体のリーダー学生が集う年に一度のこの研修会。今年度の反省点から、来年度の新体制へ向けた調整や連絡等が行われました。また、昨今の大学スポーツ界の薬物問題という点から、石川県警の方々に講師としてお招きし、若者の薬物防止をテーマにご講演いただき、非常に実りある研修会となりました。



★ 1年生ABPコース 研修旅行に行ってきました。

12月4日(月)～6日(水)、1年生ABPコースが研修旅行に出かけました。Aコースは東京方面で東京大学などの大学見学や企業見学を行いました。Bコースは関西方面で京都市内を外国人留学生と英語で会話しながら周ったり、クラス毎に歴史的文化財などを訪ねたりしました。Pコースも関西方面でノエビアスタジアム神戸見学ツアーや大塚国際美術館を訪れました。有意義で楽しい研修旅行となりました。



★ 1・2年生 中高一貫理数コース(3・4期生) 研修旅行に行ってきました。

12月5日(火)～8日(金)、中高一貫理数コースの3・4期生が研修旅行に行ってきました。初日はMIZUNOでの企業研修や東京大学総合研究博物館の見学を行い、2日目以降はそれぞれ福島プリティッシュビルズと東京グロバールゲートウェイの英語研修に参加しました。最終日は筑波宇宙センターと国立研究開発法人物質・材料研究機構の見学を行いました。見聞を広め、知的好奇心を高めた3泊4日となりました。



★ 3年生Pコース 金融経済教育セミナーを開催

12月11日(月)、3年生Pコースを対象にSMBコンシューマーファイナンス株式会社の方と財務省北陸財務局の方をお招きし、「金融経済教育セミナー」を行いました。成年年齢引き下げにともなつてできるようになった契約や、ローン・クレジットなどに関する役立つ情報を教えていただきました。また、金融トラブルの実例についても知ることができ、将来へ向けてマネーリテラシーを高める良い機会となりました。



★ 2年生ABPコース 研修旅行に行ってきました。

12月6日(水)～8日(金)、2年生ABPコースが研修旅行に出かけました。Aコースは東京方面で東京大学にて卒業生との座談会や企業研修を行いました。Bコースは関西方面で大阪市内の観光や班別自主研修、企業訪問を行いました。Pコースも関西方面でノエビアスタジアム神戸見学ツアーや大塚国際美術館を訪れました。各コースともに有意義で楽しい研修旅行となりました。



★ 全国大会出場激励会

12月14日(木)、全国高校サッカー選手権大会に出場する男子サッカー部の激励会を行いました。同窓会副会長の梶氏、理事長、校長から激励の言葉がありました。サッカー部主将の倉畑鉄将さんは「今の自分たちがいるのは、応援や支援をしてくれる方々がいるからです。感謝の気持ちを忘れず、一戦一戦悔いなく戦ってきます。」と語っていました。



★ 1年生・2年生 「冬季体育大会」を行いました。

12月20日(水)・21日(木)、1年生・2年生の冬季体育大会が行われました。雪が降り始め、より寒さを感じる中で、生徒たちの懸命なプレイや声援、笑顔であふれる熱気のある大会となりました。



★ 2年生Pコース スキー・スノーボード実習

2月7日(水)～9日(金)、2年生Pコースは栂池高原スキー場にて2泊3日の実習を行いました。初心者が多く、最初はうまくいかない事も沢山あり、実習が終わった後は疲れた様子が見える1日目でした。しかし2日目、3日目には、インストラクターの方々の指導のおかげで、少しずつ上達し、S字カーブなどがうまくなり、滑走できるようになり、笑顔で楽しんでいる様子が見られました。



★ 1年Aコース 東谷葵さん 全日本ジュニアクラシック 音楽コンクールピアノ部門で第1位！

2023年9月、千葉県浦安市にて実施された第45回全日本ジュニアクラシック音楽コンクールピアノ部門高校1年生の部において、1年Aコースの東谷葵さんが見事1位を獲得しました。



★ 第73回高峰賞で 高峰奨励賞を受賞

11月27日(月)、第73回高峰奨励賞の授与式が校長室で行われ、3年生の吉田旭輝さんが高峰奨励賞を受賞しました。その後、高峰奨励賞を授与されました。その後、高峰奨励賞を授与されました。その後、高峰奨励賞を授与されました。



★ ウィンターフェスティバル を行いました。

12月7日(木)、ウィンターフェスティバルを行いました。ドッジボール、バスケットボール、フットサル、フリースロー、バレーボールの種目を学年別クラス対抗で競い合いました。どの学年も白熱した接戦で、クラスに関係なく好プレーには大歓声が上がると、活気にあふれる一日となりました。特に3年生にとっては中学校での最後のウィンターフェスティバルとなり、特に力が入っている様子が見られました。



★ 1年生 防災に関する 学内研修を実施

12月20日(水)、1年生は「私たちができる防災対策」をテーマに学内研修を行いました。「ポリ袋でご飯を炊いてみよう」「段ボールベッド作り体験」などの各講座を通して防災について理解を深めました。



★ 合唱コンクールを 行いました。

12月21日(木)、稲置講堂にて合唱コンクールを行いました。この日のために数か月かけて練習してきた自由曲を披露し、どのクラスが優勝してもおかしくないほどのレベルの高いコンクールとなりました。金賞はクラス一丸となり、力強く想いのこもった美しいハーモニーで会場を包み込んだ3Cホムが受賞しました。生徒はもちろん、多くの保護者の皆様と共に感動のひと時を過ごすことができました。



★ 命の大切さをテーマに、 講演会を行いました。

2月5日(月)、「命の大切さを学ぶ教室」の講演会を実施しました。講師にNPO法人ジェントルハートプロジェクト理事の小森美登里氏をお招きし、体験に基づきお話をいただきました。「優しい心が一番大切」など、尊重しあうことが大切であるということを学ぶことができました。



★ スキー実習に 行ってきました。

富山県南砺市OX-AROSAにてスキー実習を行いました。インストラクターの方に教えてもらいながら初めてのスキーに悪戦苦闘しながらも滑走する生徒、上部ゲレンデを颯爽と滑る生徒の姿が見られました。日帰りの短い時間ではありましたが、天候にも恵まれ、生徒たちは級友とかけがえない時間を過ごすことができました。



★ 中高 12月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

- 第46回石川県学生写真コンクール
・北國写真連盟会長賞 笠井 一樹
・石川県高等学校文化連盟会長賞 道見 知昭
- 2023川崎トランポリンジャパンオープン
・ジャパンオープン女子 第6位 澤田 守杏
・17、18歳男子の部 優勝 今本 修成
- 第39回 北信越高等学校囲碁選手権大会
・個人戦B級 第3位 池辺 護
- 第51回北信越高等学校選抜卓球大会
・男子シングルス 準優勝 岩本 歩夢
- 第76回中部日本高等学校演劇大会
・奨励賞
- 令和5年度 石川県高等学校総合体育大会
・男子総合 第2位
・男子アルペン総合 第2位
・アルペン競技男子GSL 第2位 中野 光士郎
・アルペン競技男子SL 第2位 中野 光士郎
・アルペン競技男子SL 第3位 宮本 純之介
・女子総合 第2位
・女子ノルディック総合 第2位
・クロスカンтриー競技 女子5km フリー 第2位 永井 夏喜
・クロスカンтриー競技 女子5km クラシカル 第2位 永井 夏喜

第102回全国高等学校サッカー選手権大会

- ・出場
令和5年度 石川県高等学校総合体育大会
・総合優秀校
・女子優秀校

第37回 石川県高等学校ヴォーカルアンサンブルコンテスト

- ・A部門 銅賞
・B部門 銅賞
第8回いしかわ吹奏楽コンクール新人戦
・銅賞

令和5年度 石川県高等学校弓道如月大会

- ・団体女子 優勝
・団体男子 準優勝

第60回 白山市美川一周耐寒継走大会

- ・高校男子の部 第2位
・高校男子の部 第3位
・高校女子の部 優勝

第28回北陸ジュニア棋王戦

- ・高校生の部 優勝 畠 爽流

【星稜中学校】

第38回石川地区中学高校生化学研究発表会

- ・奨励賞
石川県中学校体育大会 第73回石川県中学校スキー大会
・男子総合 第3位
・男子回転 第5位 近藤 陽太
・男子大回転 第4位 近藤 陽太



☆星稜アトリエリスタ活動☆

これまで星稜アトリエリスタ活動として様々な芸術家が月2回来園し、子どもたちの興味や関心をひきだしながら楽しく芸術活動が展開されました。芸術家の指導のもと、園庭で描いた現代アート活動や油絵、染織、彫刻家によるテーマボール制作などに取り組んできました。

1年間の集大成として、3月1日(金)～3日(日)まで金沢アートゲミギャラリーにて「星稜幼稚園作品展」を開催し、星稜アトリエリスタ活動で制作した作品や0歳児から年長児がクラスで制作した作品を展示しました。50種類200点の作品は、どれも子どもたちの創造・想像にあふれ素晴らしいものでした。展示会に足を運んでいた皆様からも「子どもってすごい」「おもしろい」とお声をかけていただきました。2024年度も様々な芸術活動を予定しています。お楽しみに！



芸術家：星稜アトリエリスタ指導者の皆様



 ☆星稜泉野サッカークラブ卒部試合☆



星稜泉野サッカークラブの年長・年中で卒部試合を行いました。かがやき・はやぶさ・ペガサス・ドラゴンの4チームに分かれて戦いました。年長のチアリーディングの子どもたち、たくさんの方の保護者の皆様の応援で子どもたちも生き生きとサッカーを楽しんでいました。最後には、ツエーゲン金沢のコーチとのエキシビジョンマッチも！全員にメダルと参加賞、そして得点王に輝いたほしぐみの杉本峻清さんにはコーチからサッカーボールが贈呈されました。

☆保護者会企画☆



「せっかくやし、雪で等身大トロ口作らんけ？」の呼びかけから、1月27日(土)金沢南総合運動公園で保護者会主催の雪遊びをしました。等身大のトロ口をつくったり、雪合戦をしたりと、冬ならではの雪国ならではの遊びができたのではないかと思います。100名ほどが参加され、とてもにぎやかな会になりました。親子で今年の冬の思い出になっていれと思います。今年度は、保護者会主催の企画をたくさん開催することができ、うれしく思います。保護者会の皆様ありがとうございました。

☆絵付け体験&お茶会☆



茶道で使う抹茶碗に絵付け体験をしました。陶芸家つきぐみの大塚珠月さんのお母さんに指導していただきました。石川県観光PRマスコミキャラクターのひやくまんさんに色を塗りました。九谷五彩を筆で塗り分け、枠からはみ出さないように一生懸命取り組みました。



お茶会では、保護者の方をおもてなしました。少し緊張しながらも、保護者の方と見つめ合いにつこり。最後には茶道裏千家家元「千宗屋」からのおしるしをいただき記念写真を撮りました。

園発☆
初めてのクッキング☆

毎日、園の給食を楽しみにしている子どもたち。おみそ汁や煮物のいいにおいがしてくると、そろそろお昼かなと気がつきます。

ひな・ひよこ組の0歳児と1歳児は、下ごしらえ体験のクッキングをしました。

初めてのクッキング。使った野菜は「キャベツ」です。

大きな葉を手にとると、どの子も真剣な表情でちぎり始めました。時々、キャベツに顔を近づけてにおいをかいでみたり、ちぎった形のおもしろさに気づいて保育士に見せてくれたりする姿も見られ、「キャベツ！」と言葉にする子もいました。調理する前の野菜に見て触れて、様々なことを感じながら、おいしくいただきました。



星 稜 Pick up

稲友会より、能登半島地震被害への支援金の寄付

2024年2月26日(月)、大学及び短期大学部の保護者会(稲友会)の越村知史稲友会長が本学に訪れ、先の能登半島地震で被災した在学生とその保護者に対するお見舞いとあわせ、学園からの被災学生、保護者への支援に少しでも役立ててほしいと、100万円のご寄付をいただきました。越村会長から、田中事務局長が立会いのもと、大久保学長に寄付金の目録が手渡されました。

越村会長から、「保護者の中には家屋が倒壊するくらい被災したご家庭もあり、何とか支援を形にしたい、この場に早く参りたい気持ちがあった」とお話がありました。これに対して大久保学長より、「稲友会の皆様のご意思を有り難く頂戴し、被災者支援に有効に利用させていただきます」と力強く約束しました。

田中事務局長からは、2024年を元年とした中期計画にも能登半島地震の復興に対する支援を明記しており、この甚大な被害を風化させず、継続した支援活動の実施に、大学、短期大学部は取り組んでいくとの説明がありました。

最後に越村会長より、「悲しい出来事でスタートした年明けであったが、新入生、在学生が気持ちを新たに新年度を迎えられるよう、今後も稲友会はできる限りのバックアップをさせていただきます」と温かいお言葉を頂戴しました。

稲友会会員の皆様、本当に有り難うございました。この場を借りて感謝申し上げます。



2023年度稲置学園星稜基金 スポーツ・文化等課外活動支援の給付状況

本学園では、星稜基金スポーツ・文化等課外活動支援として、スポーツ・文化等の課外活動において全国大会以上の大会に参加するなど顕著な活躍が認められた方に支援給付を行いその活動を支援しています。また、両幼稚園には毎年絵本の贈呈を行っています。

【大学】

団体

準硬式野球部
女子バレーボール部
女子ハンドボール部
男子空手道部
男子バレーボール部
男子ハンドボール部
トランポリン部(男子)

個人

空手道部	谷口 魁
	中谷 翔貴
剣道部	森田 悠生
	山崎 凌空
	井関 駿太
	秦 颯士
トランポリン部	豊後 輝道
	美田 靖文
	木村 心春
	伊吹 千夢

【高校】

団体

男子サッカー部
男子ソフトボール部
トランポリン部(女子)
トランポリン部(男子)
野球部
陸上競技部(女子)
将棋部(男子)

個人

弓道部	今高 菜々子
スキー部	宮本 純之介
	番所 駿斗
	赤石 泰雅
	田山 雄貴
	金沢 成哉
トランポリン部	中山 偉斗
	都竹 奏翔
	今本 修成
	澤田 守杏
	南 菜奈

【中学】

団体

野球部

【星稜幼稚園】

絵本贈呈

【星稜泉野幼稚園】

絵本贈呈

トランポリン部	大藤 彩
	吉村 紅子
	河島 千空
	内湯 佳奈
	長谷川 碧人
	松岡 龍吾
ボクシング部	田上 獅道
	吉尾 彩
	中嶋 雪音
	高澤 和真
	奈良本 圭亮
	山岸 由理
	明正 佑奈
	伊藤 暖
小倉百人一首かるた部	堀 陽太
	忍久保 乃梓
将棋部	多田 恵望
美術部	渡邊 由紀乃

北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



本店営業部
チーフアカウントマネージャー
竹本 淳
(星稜高等学校 第37期卒)

生涯にわたる学びが 地域、社会のためになる

私は平成13年に星稜高校を卒業し、京都の大学へ進学のうち、平成17年に北國銀行に入社しました。これまで、石川県内、富山県内、大阪府内の店舗および本店企画部署を経験し、現在は本店営業部で食料品・飲食の業界のお客様を中心に法人営業を行っています。

北國銀行を含む北國フィナンシャルホールディングスでは、企業理念、ブランド理念、スローガンの3つを掲げ、11のグループ会社それぞれがサービスの質、価値を第一に地域のみならずより良い未来に向けたパートナーとして共に歩みを進めています。事業を営んでいる方はそれぞれ業種、業

態の違い、地域の違い、文化の違いがあり抱える悩み、課題も百人百様です。それを理解しながら、課題への向かい合い方を示し、解決方法を共に考え、共に取り組んでいくことが我々の使命と考えています。もちろん実現のためには、財務的な数字に強いだけでなく、業種の特性や地域の特性を理解する必要があるとあります。リカレントやリスキリングという言葉は最近よく耳にする機会が増えていっていると思いますが、学校卒業後も生涯にわたって学び続けることが自分のため、地域のため、社会のためになると思っています。

在学中を振り返ると、私は部活動には所属していませんでしたが、周囲には部活動、勉学に励む仲間がいて、惜しみなく支援してくださる先生方の存在があり、私も負けじと努力し、志望校に進むことができました。

星稜高校の建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」が自身の中で礎として生きていて、在学中の三年間の出会いと環境が、今の自分を形成しているのだと確信していますし、卒業後も公私を通じて諸先輩方、後輩との交流や学びが、現在の楽しみでもあります。

最後になりますが、在学生、卒業生、学校関係者の皆様の今後のご健勝とご多幸、これから「誠実にして社会に役立つ人間」が増えていくことを祈念しまして、結びの挨拶とさせていただきます。



これからも地域の皆さまのお力になれますよう
そして、豊かな未来へと一緒できますよう
この時代の今を全力で支えてまいります。

Quality Company, Good Company.
 北國フィナンシャルホールディングス

総合研究所・ 地域連携センター だより



総合研究所



SDGs 産学
地域連携センター

地域連携センター

「2023年度地域連携活動報告会」を 開催しました！

2月19日(月)、金沢星稜大学地域連携センター主催2023年度地域連携活動報告会を開催し、学生・教員が2023年度行った活動や、今後の活動の展望についてプレゼンテーションを2部構成で行いました。

第1部は、地域フィールドを舞台とした教育研究活動を通して、課題解決能力と地域の活力となる新たな知を生み出す力を持った人材を育成することを目的とする事業である「地域連携による地域貢献活動」推進事業の成果報告が行われました。

第2部は、本学の教育研究の推進並びに地域の活性化を図ることを目的に、「地域に向き合い、地域に学ぶ」を目標として行う、地域課題解決・社会貢献活動などに励む学生の自主的な活動である「星稜ジャンプ地域活動プロジェクト」の報告が行われました。2023年度は12団体が活動を通しての成果や学び、今後の展望を発表しました。

活動の様子を動画にしたものや活動内で制作したオリジナル商品の紹介などもあり教員・学生らの工夫を凝らした地域貢献活動の様子が伝わりました。また、質疑応答の時間では多くの方からのご質問やご意見をいただき、今後の活動への新たな一歩につながる報告会となりました。



総合研究所

「2023年度研究成果報告会」を 開催しました！

2月29日(木)、金沢星稜大学総合研究所主催2023年度研究成果報告会を開催し、6件の共同研究、3件のプロジェクト研究が成果報告を行いました。報告会には県外の共同研究員及び学部を越えた多くの参加者による意見交換が行われました。新広昭副学長は各教員の報告を受け、「学部を越えた教員が集まることで良いコラボレーションが生まれ、今後の研究がさらに発展していくことを期待しています」と述べました。



共同研究

- ・食品分野における地域の特殊性の保護・継承と市場適合による影響
代表研究者：土屋仁美(経済学部准教授)
- ・統合報告の今日的課題—作成組織と副次的効果に焦点を当てて—
代表研究者：梅田 充(経済学部講師)
- ・ロングセラーブランドが持つ特徴と消費者への影響に関する検証
代表研究者：牧野 耀(経済学部講師)
- ・調和の人間学構築のために新たな時代への過渡期における人間学的課題
代表研究者：桑野 萌(人文学部准教授)
- ・Arts-Based-Researchを共通基盤とし、非芸術系大学における科目にアート作品の制作を取り入れるための学際的研究—芸術学・教育学・哲学の観点から—
代表研究者：寺嶋雅彦(教養教育部講師)
- ・大学教育におけるICT利用の可能性について
：学術的な議論におけるアバターの有無の違い
代表研究者：永井曉行(教養教育部准教授)

プロジェクト研究所

- ・親子間の文化を通じた嗜好の伝達についての実証研究
経済と文化のパネル実証分析研究所
代表研究者：石野卓也(経済学部教授)
- ・河北潟地域の自然共生マスタープラン策定に関する実証的研究
河北潟地域の自然共生マスタープラン研究所
代表研究者：永坂正夫(人間科学部教授)
- ・変化する社会における文化継承についての研究と実践—社会に貢献する人材育成のための比較文化学の方法とその課題—
グローバルスタディーズ教育プロジェクト研究所
代表研究者：齋藤千恵(人文学部教授)



「地域連携による地域貢献活動」 推進事業

- ・「津幡町河合谷地域活性化プロジェクト」
(人間科学部 西村貴之教授、経済学部 石川美澄准教授)
- ・「Future Challenge Project 2023」
(人間科学部 西村貴之教授・新谷洋介教授)
- ・「羽咋地区における国際交流支援、ICT活用支援」
(人間科学部 清水和久教授)
- ・「小学校英語教育実践プロジェクト(志賀町)」
(人文学部 前田昌寛准教授、人文学部 田中富士美教授)
- ・「石川県産探卵鶏(鶏卵)の普及活動」
(短期大学部 手塚貴子准教授)



「星稜ジャンプ地域活動プロジェクト」 活動内容

- ・キッズプログラミングアカデミー
子どもたちへのプログラミング教室を開講
- ・HACK
学内情報を受発信できるラジオの作成
- ・道の駅めぐみ白山盛り上げ隊
SDGsの観点から白山の魅力を発信
- ・FTGs
フェアトレードの知識を深め、発信
- ・七尾市大呑地域活性化プロジェクト
大呑でランタンフェスティバルを開催
- ・のとプロ
能登の観光資源を発信
- ・コスメティックペコリン♡
オリジナル商品で能登の魅力を発信
- ・食☆活(子ども支援活動)
子ども食堂の企画・運営
- ・SDGsと保育
保育現場でSDGs教育に取り組む
- ・ひかるさつまいも
デザインとマーケティング
- ・Kam
親子参加型スポーツイベントの運営
- ・SEIRYO Movie Creators
県内の銭湯の魅力を伝える動画を作成

行事スケジュール（4月～6月）

※変更する場合があります。

金沢星稜大学

4	2日(火)	入学式
	3日(水)・4日(木)	新入生ガイダンス
	5日(金)・6日(土)	新入生宿泊研修(経済・人間)
	9日(火)	前期及び第1Q授業開始
	13日(土)・14日(日)	新入生歓迎祭
5	30日(火)～5月2日(木)	GW休講期間
	6日(月・祝)	月曜通常講義日
	11日(土)・25日(土)	補講日
6	1日(土)	百万石まつり踊り流し
	4日(火)～7日(金)	1Q科目試験期間
	10日(月)	
	8日(土)・9日(土)	1年次宿泊研修(人文)・星稜復興フェス
	8日(土)・22日(土)	補講日

金沢星稜大学女子短期大学部

4	2日(火)	入学式
	3日(水)・4日(木)	新入生ガイダンス
	9日(火)	前期授業開始
	20日(土)	新入生歓迎祭
	30日(火)～5月2日(木)	GW休講期間
5	6日(月・祝)	月曜通常講義日
	11日(土)・25日(土)	補講日
6	1日(土)	百万石まつり踊り流し
	8日(土)・9日(土)	星稜復興フェス
	8日(土)・22日(土)	補講日

星稜高等学校

4	3日(水)	入学前オリエンテーション、自転車安全教室
	8日(月)	入学式
	9日(火)	始業式、1年研修会
	20日(土)	身体計測
	23日(火)～25日(木)	内科検診
5	2日(木)	春の遠足
	14日(火)～17日(金)	中間試験
	17日(金)	高校総体・総文激励会
	18日(土)	後援会総会、3年学級懇談会、1年A懇親会
	24日(金)	避難訓練
6	4日(火)～6日(木)	歯科検診
	8日(土)	1年保護者対象説明会

星稜中学校

4	8日(月)	始業式、入学式、入学オリエンテーション
	9日(火)・10日(水)	1年研修会
	9日(火)	交通安全教室・自転車説明会
	16日(火)	タブレット安全教室
	20日(土)	身体計測、3年進路説明会
5	23日(火)～25日(木)	内科検診
	2日(木)	春の遠足
	17日(金)	スポーツテスト
	18日(土)	後援会総会
	24日(金)	避難訓練
6	30日(木)・31日(金)	中間試験
	4日(火)～6日(木)	歯科検診

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

4	5日(金)	入園式、進級式
	8日(月)	始業式
5	17日(金)	内科検診

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

4	1日(月)	2,3号保育開始
	5日(金)	入園式・進級式
	8日(月)	始業式
	26日(金)	リトミック(年少・年中)
5	30日(火)	避難訓練
	8日(水)・22日(水)	小児科健診
6	27日(月)	避難訓練
	4日(火)	歯科検診
	26日(水)	避難訓練

星稜サ・エ・ラに関する

アンケートへのご協力をお願い

締切 5/31

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方の中から、抽選で3名様にQUOカード(500円分)をプレゼント。下記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。

抽選で3名様に
QUOカードをプレゼント!

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1

TEL 076-253-3924 (代表)

(大 学) <https://www.seiryu-u.ac.jp/u/>(短 大) <https://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地

TEL 076-252-2237 (代表)

<https://www.seiryu-hs.jp/>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地

TEL 076-252-5057 (代表)

<https://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号

TEL 076-244-5636 (代表)

<https://kinder.seiryu.jp/tzumino/>

(星稜サ・エ・ラ) サ・エ・ラク(çà et là)とはフランス語で「ここそこ」「あちこち」。幼稚園から大学まで色々な場面にスポットを当てるという意味で、「どこでも星稜教育が息づいている」という表しです。